

序

近年、少子高齢化、国際化や高度情報化、科学技術の進展など、社会環境が大きく変化
する中であって、国においては様々な教育改革が進められています。

本市においては、昭和56年に生涯教育の立場に立った市民参加による「足利市の教育
目標」が設定されて30有余年を迎えようとする中、21世紀を展望して設定されたこの
「足利市の教育目標」の具現化を目指し、様々な事業や施策を展開しております。また、
学校や家庭、地域社会をはじめとした様々な教育の場においても、足利の風土に根ざした
教育が展開され、足利学校のあるまち足利に教育尊重の機運の醸成が図られているところ
であります。

当教育研究所におきましては、これら様々な教育の場における優れた研究や実践の成果
を紹介し、教育に携わっている方々の教育観を深めるひとつの契機に、あるいは各教育現
場における日々の実践の参考としていただけるよう、ここに「平成26年度教育研究所研
究集録」を刊行いたしました。

今回紹介いたします内容は、研究学校の部については、足利市教育委員会指定（人権教
育）の名草小学校の1編、実践記録の部については、栃木県小学校社会科教育研究会足利
支部、栃木県小学校教育研究会情報・メディア教育部会足利支部の2編、個人研究の2編、
研究員研究の部については、平成24・25・26年度のテストバッテリー有効活用のため
の研究、平成25・26年度のわかる授業のためのICT活用研究（中学校、特別支援
教育）の2編、学習指導教材センターの部については、平成25・26年度の学習指導教
材センターの活動の1編があります。

これらの研究は、生涯学習の立場に立った研究であり、教育の今日的課題についての研
究でありますので、皆様方の研究実践の参考に資するものと考えます。これらの成果を十
分活用されますとともに、さらに一層この方向の研究を進展されますよう期待いたします。

最後に、本集録の作成に玉稿を寄せていただきました皆様に対しまして心から敬意と感
謝を申し上げます。

平成27年3月

足利市立教育研究所長

村 田 正 幸